

==== 支部だより ====

## 北海道支部昭和57年度第1回研究発表会の報告

日本気象学会北海道支部の昭和57年度第1回研究発表会が、昭和58年3月15日に北海道大学理学部3号館(地球物理)で開催された。発表題目と発表者は下記の通りである。

### 記

1. 北日本の海況と気象(第2報)
  - ◎西山勝暢(函館海洋気象台)
  - 稲川 勝(同上)
2. オホーツク海の流氷最大面積と夏の海水温・気温の関係
  - 大川 隆(札幌管区気象台)
3. 沿岸滑昇霧の発生について
  - 孫野長治(気象協会)
4. 加熱蒸散による霧および雲水量の連続自動測定法と観測例
  - 遠藤辰雄(北大低温研)
  - 藤吉康志(同上)
  - ◎小西啓之(同上)
  - 入川真理(同上)
  - 若浜五郎(同上)
5. 相対密度による低気圧の発生・発達についての考察
  - 関矢 忠夫

6. 大気中の粒子状炭素濃度の測定
  - ◎太田幸雄(北大工学部)
  - 大喜多敏一(同上)
7. アメダスデータによる夏の勇払・石狩平野の気象の解析
  - ◎堀口郁夫(北大農学部)
  - 松村伸二(同上)
  - 谷 宏(同上)
8. 寒冷地におけるソーダによる冷却過程の観測
  - ◎谷口 恭(北大理学部)
  - 菊地勝弘(同上)
  - 播磨屋敏生(同上)
  - 真木雅之(同上)
  - 平松 親(北大環境)
9. 盆地における冷却過程
  - ◎真木雅之(北大理学部)
  - 播磨屋敏生(同上)
  - 菊地勝弘(同上)
  - 谷口 恭(同上)
  - 平松 親(北大環境)

◎印は発表者